

# 環境レポート 2009

株式会社 豊島製作所

2009年6月

## ■当社の環境マネジメントシステム

株式会社豊島製作所は、環境マネジメントシステム規格「KES(ステップ2)」の外部認証を取得し、環境保全・環境改善活動に取り組むことで、社会貢献と企業価値向上を目指しています。

KESとは、国内の環境マネジメントシステム規格で、国際規格ISO14001と同様に、環境方針に基づいて環境改善目標を設定し、目標達成のためにPDCAサイクルをまわして活動することで環境保全・環境改善に貢献していくための仕組みです。

当社は、2005年にマテリアルズシステム事業部、2007年には部品事業部・トイ事業部を含む全社を適用範囲に、審査機関「特定非営利活動法人 KES環境機構」の認証を受けました。

※2008年度 - 環境宣言

## 環境宣言

### 基本理念

株式会社 豊島製作所は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつである事を認識し、全組織をあげて環境負荷の低減に努力します。

### 方針

株式会社 豊島製作所は部品事業部においては自動車部品等の冷間鍛造を中心とした設計・製造・販売、マテリアルズシステム事業部においては薄膜電子材料等の製造・販売、玩具事業部においては小児用乗用玩具等の輸入・販売をしている。これらに係る全ての生産又は消費活動とこれらの製品又はサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進すると共に、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当事業部の活動、製品及びサービスに係る環境関連法的及びその他の(特に顧客の環境関連要求事項を含む)要求事項を順守します。
3. 当事業部の活動、製品及びサービスに係る環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
  - (1) エネルギー(電力)の消費削減
  - (2) 環境保全のための仕組み・体制づくり
  - (3) 一般及び産業廃棄物の排出削減(分別の励行)
  - (4) 上水の使用の削減
  - (5) 紙資源の使用の削減
  - (6) グリーン購入・グリーン納入
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言および環境活動の成果報告を全社員に周知すると共に、社外にも公表します。

上記方針を達成するために、目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 2005年6月1日

改訂日 2008年6月1日

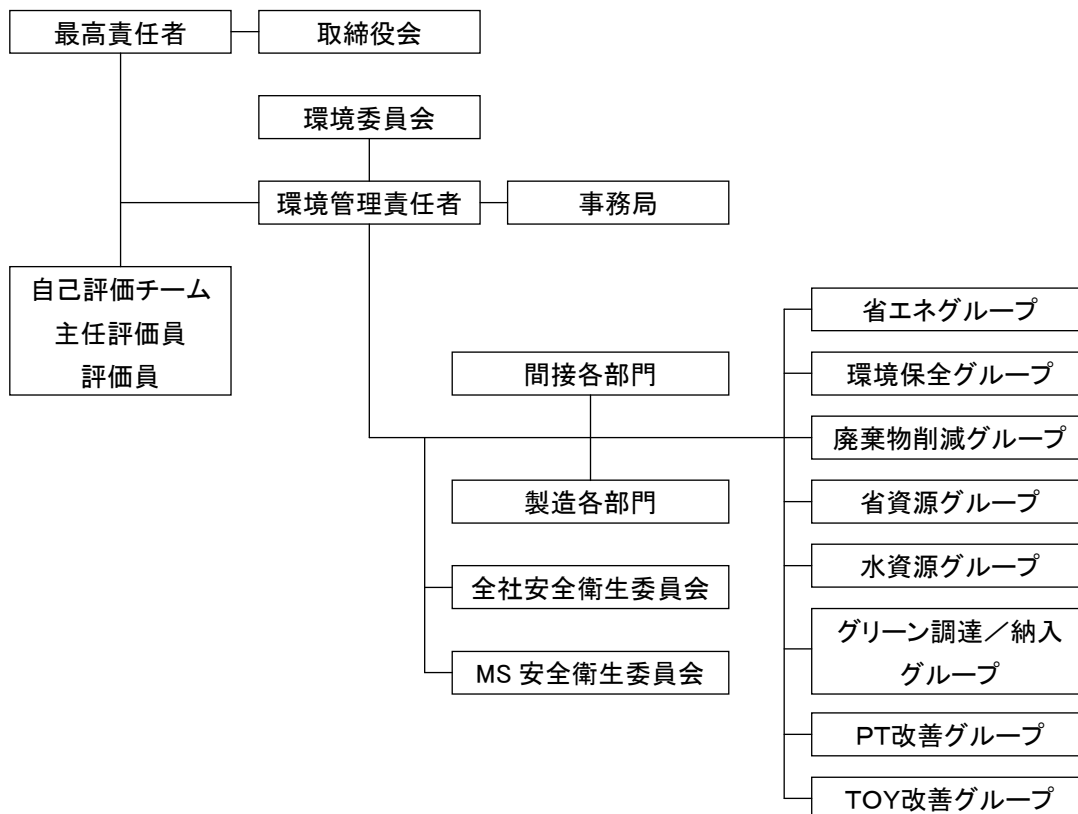
株式会社 豊島製作所  
代表取締役社長 木本大作

## ■会社概要

会社名	: 株式会社 豊島製作所
所在地	: 埼玉県東松山市下野本1414
事業内容	: 冷間鍛造加工、プレス加工、切削及び仕上げ加工 電子材料及び製膜装置の製造・販売 小児用乗用玩具等の輸入・販売
代表取締役	: 木本 大作
資本金	: 99,000千円
従業員数	: 169名
敷地面積	: 24,971.48㎡
建物面積	: 11,425.54㎡
沿革	: 昭和20年05月 豊島航空機株式会社を設立 昭和24年10月 社名を株式会社豊島製作所に変更 平成12年07月 ISO9001 認証取得 平成17年10月 KESステップ2認証取得 (適用範囲:マテリアルズシステム事業部) 平成19年07月 ソニー株式会社 グリーンパートナー認証取得(更新) 平成19年10月 KESステップ2認証取得(適用範囲:全社)

## I. 環境活動の取り組み体制

当社では、環境マネジメントシステムを推進していくために、下記のような体制をとっています。従業員全員がグループに所属し目標達成のために環境保全・改善活動に取り組んでいます。



## II. 認証取得内容

KES登録証

登録日 : 2005年10月1日

登録番号 : KES-HI-0031

## III. 環境活動の内容と実績

2008年度環境活動実績

環境改善目標	目標値	実績値	達成率
電力使用量2%削減 (前年対比使用量ベース)	4,644千kWh	3,840千kWh	120%
環境保全活動の浸透 月4Pt(年間48Pt)	48Pt	48Pt	100%
廃棄物コスト2%削減 (前年対比金額ベース)	6,273千円	2,877千円	218%
水の使用料金3%削減 (前年対比金額ベース)	4,248千円	4,297千円	98%
紙資源の購入量2%削減 (前年対比重量ベース)	7,618kg	6,026kg	126%
グリーン購入法に適合した物品の調達率 80%(調達総量対比)	80%	83%	103%

## IV. 当社の環境改善活動

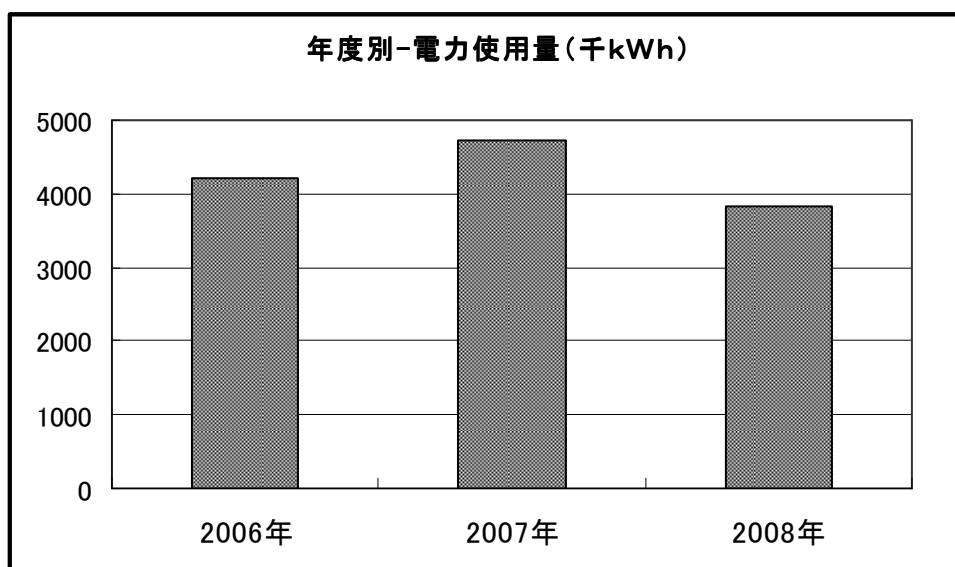
当社では、2008年度の環境影響調査により特定した“著しい環境影響”に対して、Ⅲ. のとおり、6つの環境改善目標を設定しました。

それらに対する主な活動内容について報告します。

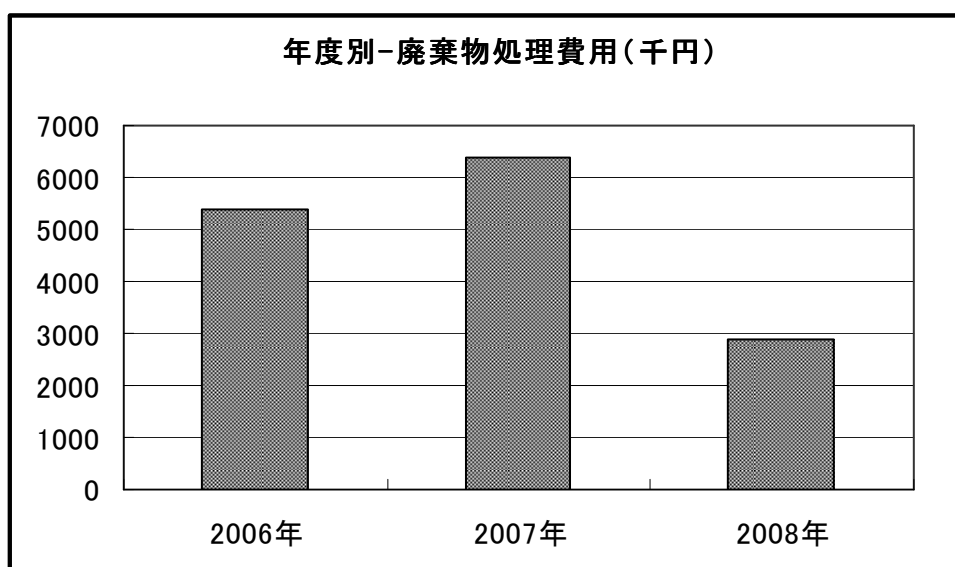
1. 電力使用量2%削減(前年対比 使用量ベース)
  - ・設備電源空転時停止の徹底(タイマーによる自動OFF、昼休み時の電源OFF)
  - ・各事務所・作業場所の空調設定温度の適正管理、定期清掃や不要照明の消灯及びそれらの実施状況の巡回確認
  - ・ウォームビズ・クールビズの啓発活動
  - ・パソコンの省電力設定(無稼動時電源OFF、PC省エネモードなど)
2. 環境保全活動の浸透 月4Pt(年間48Pt)
  - ・月1回工場周辺の清掃活動の実施
  - ・構内の清掃活動・パトロールの実施
  - ・毎月環境保全ニュースの発行によるPR活動
3. 廃棄物コスト2%削減(前年対比 金額ベース)
  - ・ゴミ分別の徹底(分別状況の調査・指導、社内ゴミ分別手引きを作成・配布)
  - ・5Rの推進(紙リサイクルの普及、工程内で使用した備品のリユースなど)

4. 水の使用料金3%削減(前年対比 金額ベース)
  - ・各職場の水道の蛇口漏れや故障のチェック
  - ・食堂の食器洗い場の節水
5. 紙資源の購入量2%削減(前年対比 重量ベース)
  - ・電子ファイルの普及やプリンタの有効活用方法(両面印刷、均等割付など)の教育
6. グリーン購入法に適合した物品の調達率80%(調達総量対比)
  - ・グリーン購入法に適合した物品の優先購入(各職場にエコカタログを配布)
  - ・リユース活動(各職場で不要になった文房具類を回収し必要な職場に再配布)

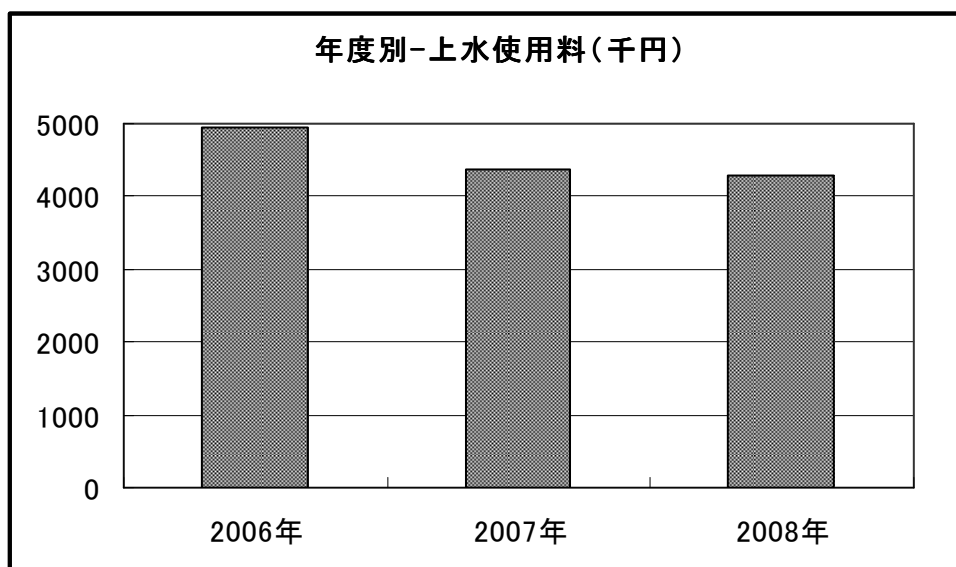
#### □ 電力使用量の推移



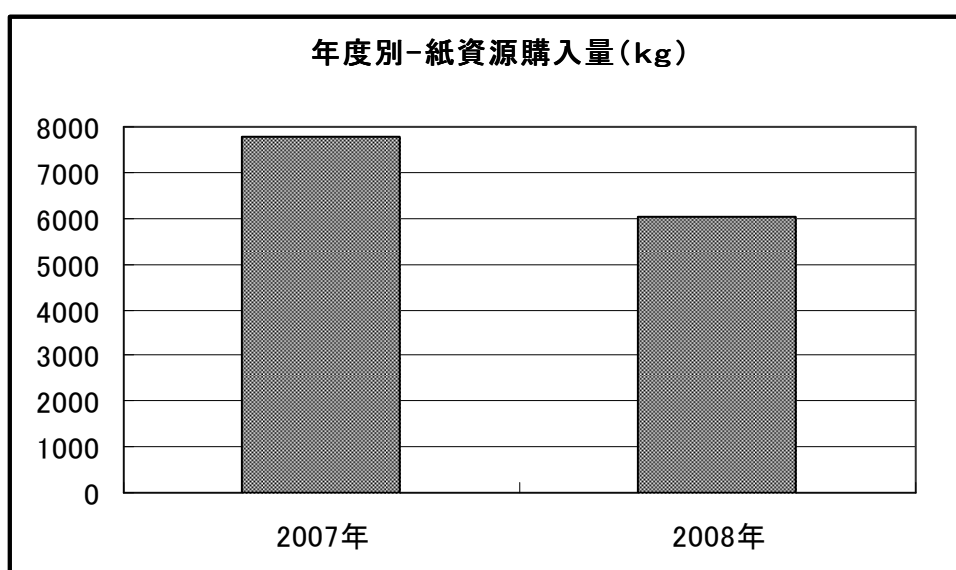
#### □ 廃棄物処理費用の推移



□ 上水使用料金の推移



□ 紙資源購入量の推移



## V. 環境関連法規の順守状況

当社は、コンプライアンスを徹底するために、KES(ステップ2)に従って、定期的に当社に適用される環境法令の情報入手、順守状況の確認を行っています。

順守状況の確認の一環として、社内分析課や外部の環境分析センターにより、水質や土壌などを定期的に分析・管理しています。

また、各職場の人員配置や法律の改正などに対応して、必要な環境関連資格の取得を推進しています。

### 環境関連資格取得者数

環境関連資格名称	取得者数	環境関連資格名称	取得者数
公害防止管理者(大気1種)	1	第2種酸素欠乏危険作業主任者	1
公害防止管理者(水質1種)	3	毒物劇物取扱者	8
公害防止管理者(騒音・振動)	1	特別管理産業廃棄物管理責任者	2
危険物取扱者(甲種)	3	浄化槽管理士	1
危険物取扱者(乙種1~6類)	11	防火管理者	3
有機溶剤作業主任者	14	安全管理者	1
特定化学物質等作業主任者	6	衛生管理者(第1種)	1
鉛作業主任者	1	環境計量士(濃度関係)	1
エックス線作業主任者	2	ISO14001内部監査員	7

## VI. 2008年度活動の評価と今後の課題

### 2008年度活動評価

2008年度は、新工場を設立したことで前期は電力や上水の使用量が増加しましたが、各々の使用量を徹底管理し、改善活動や啓発活動を強化したことで、最終的には上水を除いて目標達成に至りました。

また、「彩の国ロードサポート」の活動団体として、全従業員が一丸となって工場周辺の清掃美化活動に取り組みました。

### 2009年度の課題

全社活動2年目となった今年度は、事業部の垣根を越えて全従業員が協力したことで活発に活動することができましたが、反面、各職場に踏み込んだ活動が少なかったため、2009年度は職場に根ざした活動ができるように目標や体制を見直す予定です。

また、従業員から環境活動に関する改善提案を募って、今まで以上に環境活動の活性化を目指します。